

薬学共用試験への期待

平成28年9月22日

前島一実（文部科学省高等教育局医学教育課）

本日の話題

1. 薬学教育改革と薬学共用試験

- ・薬学教育改革の歩み
- ・モデル・コアカリキュラムの改訂

2. 大学教育の質保証の観点と薬学共用試験

- ・「3つのポリシー」に基づく大学教育改革
- ・薬学教育の質の向上に向けてのフォローアップ

3. 薬学共用試験への期待

- ・実績・ノウハウの蓄積を踏まえた機能の充実
- ・医療人としての薬剤師養成における薬学共用試験の役割

修業年限延長論議の経緯

薬学教育の改善に関する調査研究協力者会議(文部省)

「最終まとめ」(平成8年3月19日)

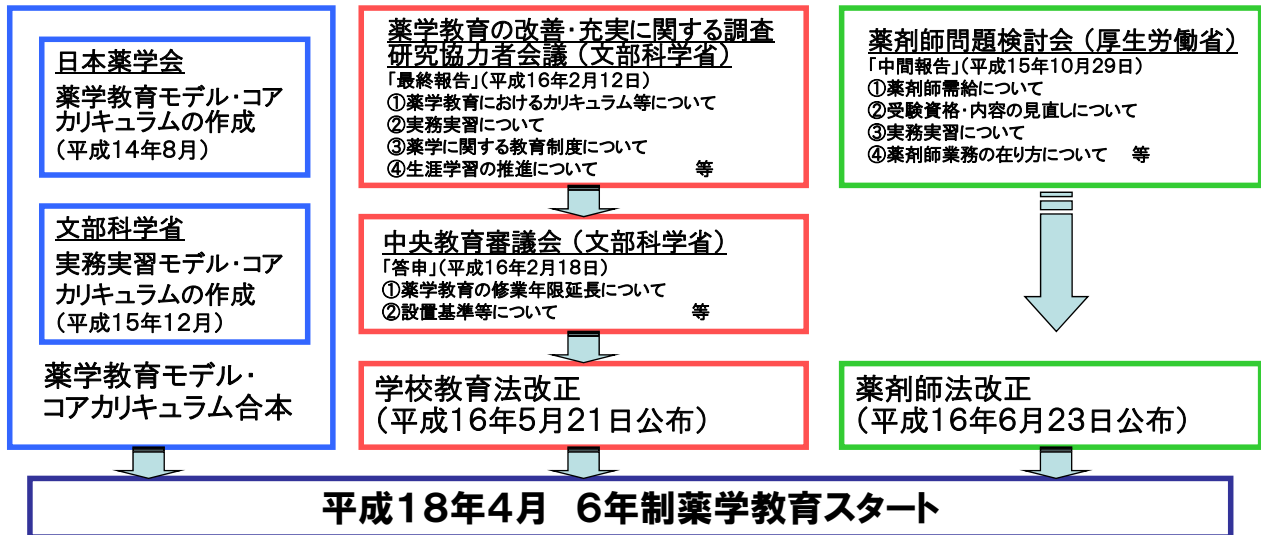
> 年限のあり方は今後とも継続して検討すべき課題

・> 大学、大学院の現況 ・実務実習の条件整備 ・入学希望者への影響 ・創薬基礎科学の教育研究への影響

薬剤師養成問題懇談会(六者懇)

構成メンバー: 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会・私立薬科大学協会・国公立大学薬学部長会議・文部科学省・厚生労働省

(平成14年1月21日各構成者が今後解決していくべき課題を取りまとめ)



中央教育審議会の提言

(平成16年9月、大学分科会)

1. 薬学教育の修業年限延長の趣旨を踏まえ、今後、薬学教育関係者の間で真摯に取り組まれることが必要な事項について提言

2. 内容

(1) **第三者評価**の体制の整備 (教育の質の保証)

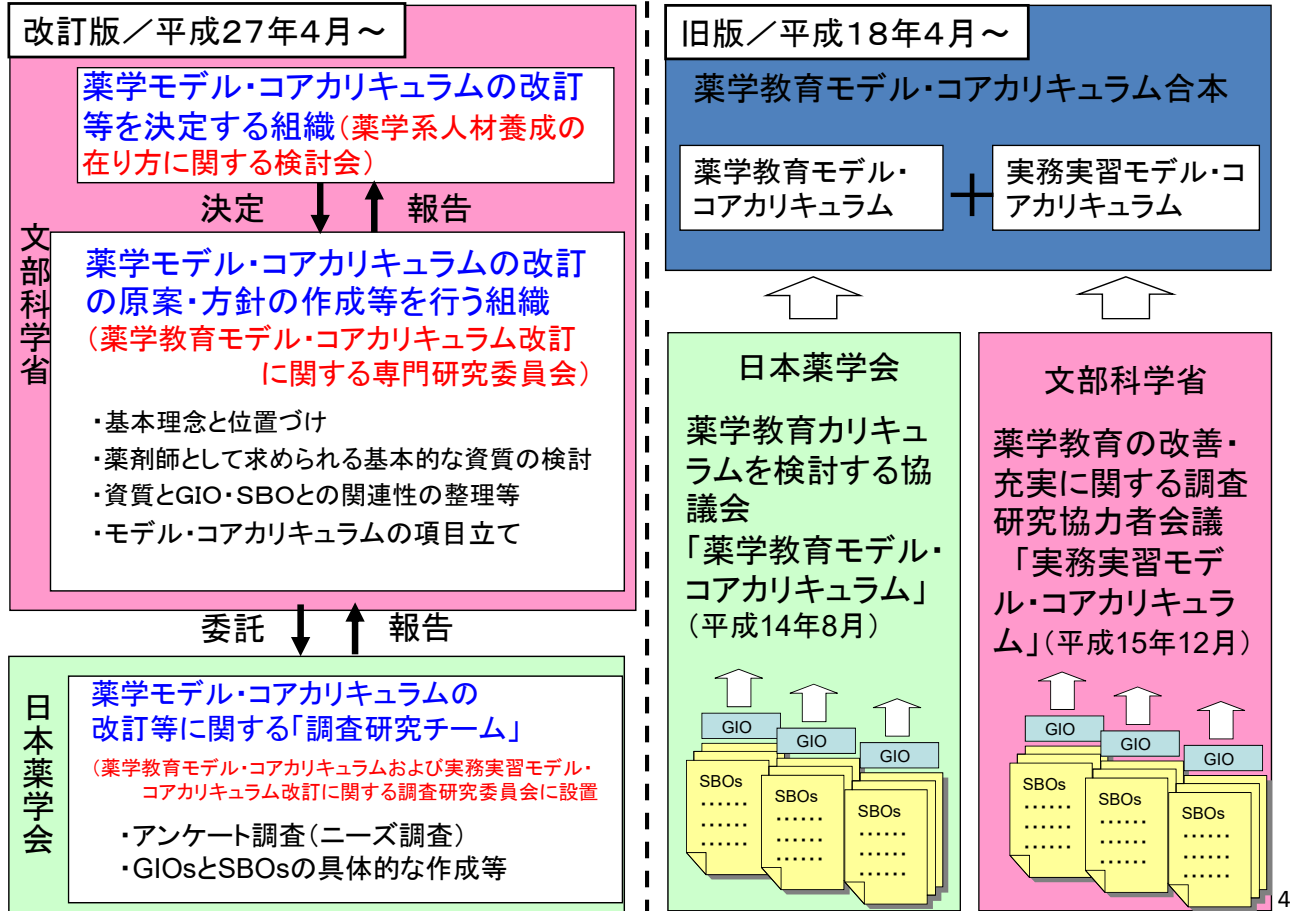
(2) **実務実習の指導体制**整備

(3) **共用試験**の実施に向けた検討

(4) 実務実習時の患者の安全確保、責任体制の明確化、事故防止、発生後の対応

(5) 関係行政機関、関係団体等の協議の場の設置

薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂の体制 比較

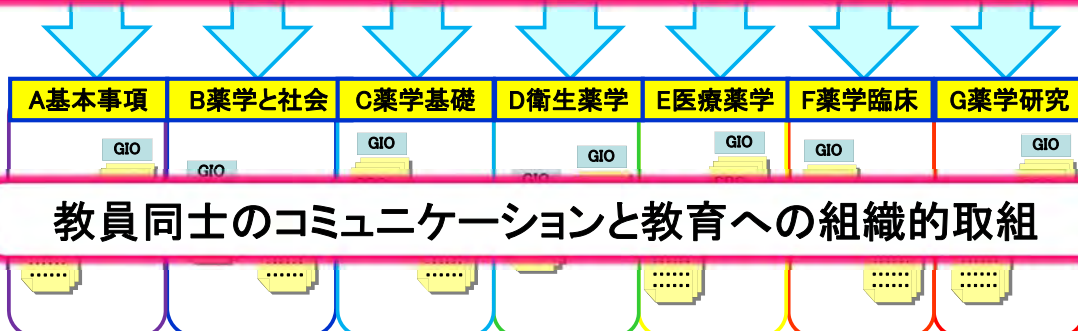


薬剤師として求められる基本的な資質



資質を身につけるために学ぶという形で編成

教員中心のアプローチから、学習者中心のアプローチへと転換



薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年12月改訂、27年度から実施)

- ・6年制薬学部のカリキュラム作成の参考となる教育内容ガイドラインであり、学生が卒業までに身に付けておくべき必須の能力の到達目標を提示
- ・「薬剤師として求められる基本的な資質」を設定し、それを身につけるための一般目標、到達目標を設定する学習成果基盤型教育(outcome-based education)に力点
- ・教育課程の時間数の7割はモデル・コアカリキュラムに示された内容を、3割は大学独自のカリキュラム等を履修

薬学教育モデル・コアカリキュラム

A 基本事項

- (1) 薬剤師の使命、(2) 薬剤師に求められる倫理観、(3) 信頼関係の構築、(4) 多職種連携協働とチーム医療、(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成

B 薬学と社会

- (1) 人と社会に関わる薬剤師
(2) 薬剤師と医薬品等に係る法規範
(3) 社会保障制度と医療経済
(4) 地域における薬局と薬剤師

C 薬学基礎

- C1 物質の物理的性質
C2 化学物質の分析
C3 化学物質の性質と反応
C4 生体分子・医薬品の化学による理解
C5 自然が生み出す薬物
C6 生命現象の基礎
C7 人体の成り立ちと生体機能の調節
C8 生体防御と微生物

D 衛生薬学

- D1 健康
D2 環境

E 医療薬学

- E1 薬の作用と体の変化
E2 薬理・病態・薬物治療
E3 薬物治療に役立つ情報
E4 薬の生体内運命
E5 製剤化のサイエンス

F 薬学臨床

- 早期臨床体験
(2年次修了まで)
実務実習履修前の学修

G 薬学研究

- (1) 薬学における研究の位置づけ
(2) 研究に必要な法規範と倫理
(3) 研究の実践

卒業まで継続して学修

実務実習 病院及び薬局 (20単位・22週)

薬学臨床の基礎
処方せんに基づく調剤
薬物療法の実践
チーム医療への参画
地域の保健・医療・福祉への参画

実務実習開始前の「共用試験」
(CBT(知識)・OSCE(技能))

実務実習と体系的に関連づけて学修

実務実習と体系的に関連づけて学修

薬剤師国家試験

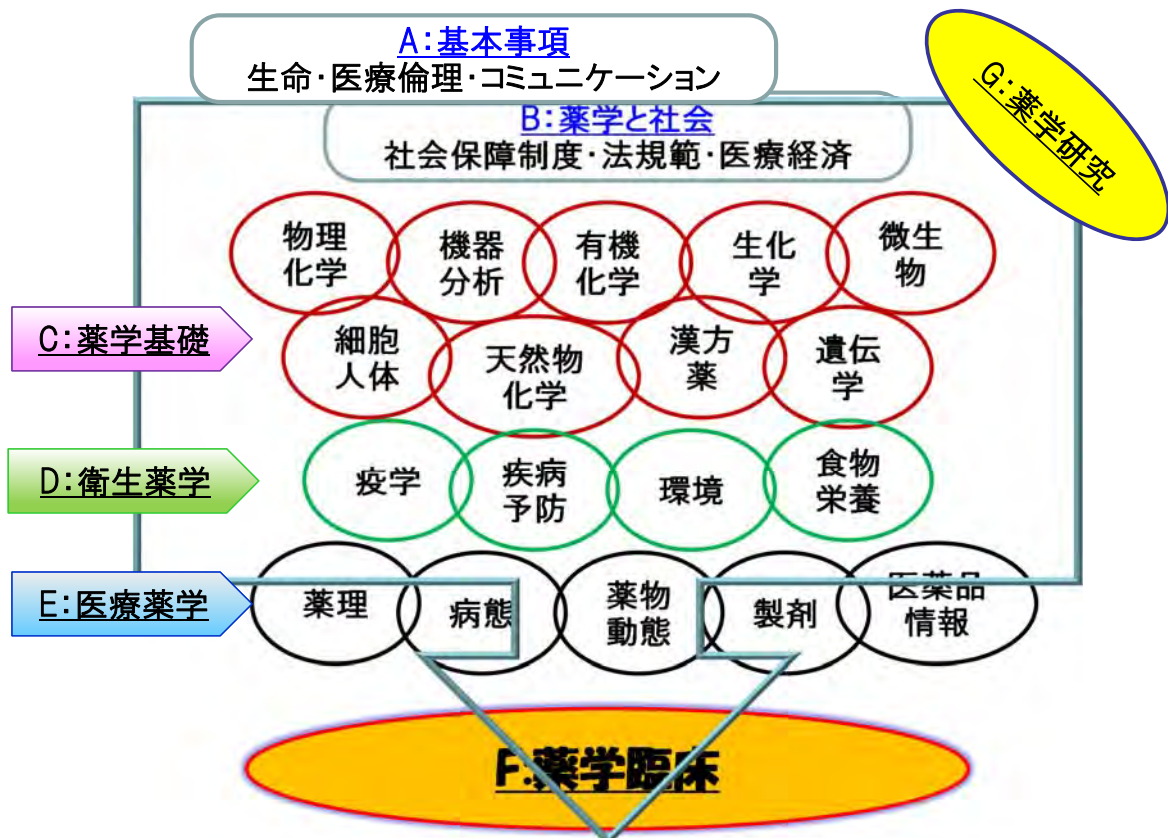
薬学準備教育ガイドライン(例示)

- 人と文化
- 人の行動と心理
- 薬学の基礎としての英語、物理、化学、生物、数学・統計学
- 情報リテラシー
- プレゼンテーション

大学独自のカリキュラム(薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)も参考)

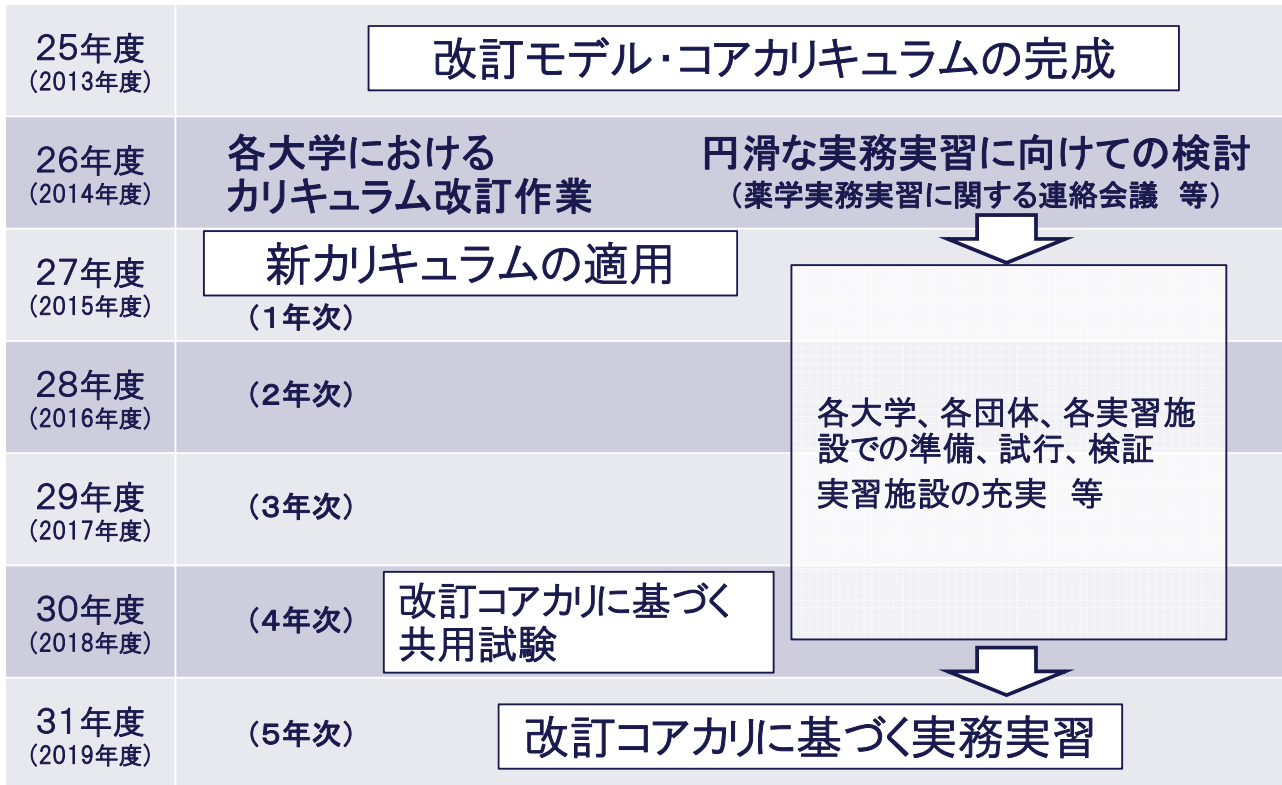
6

「基礎薬学から薬学臨床までの総合的な6年間教育」

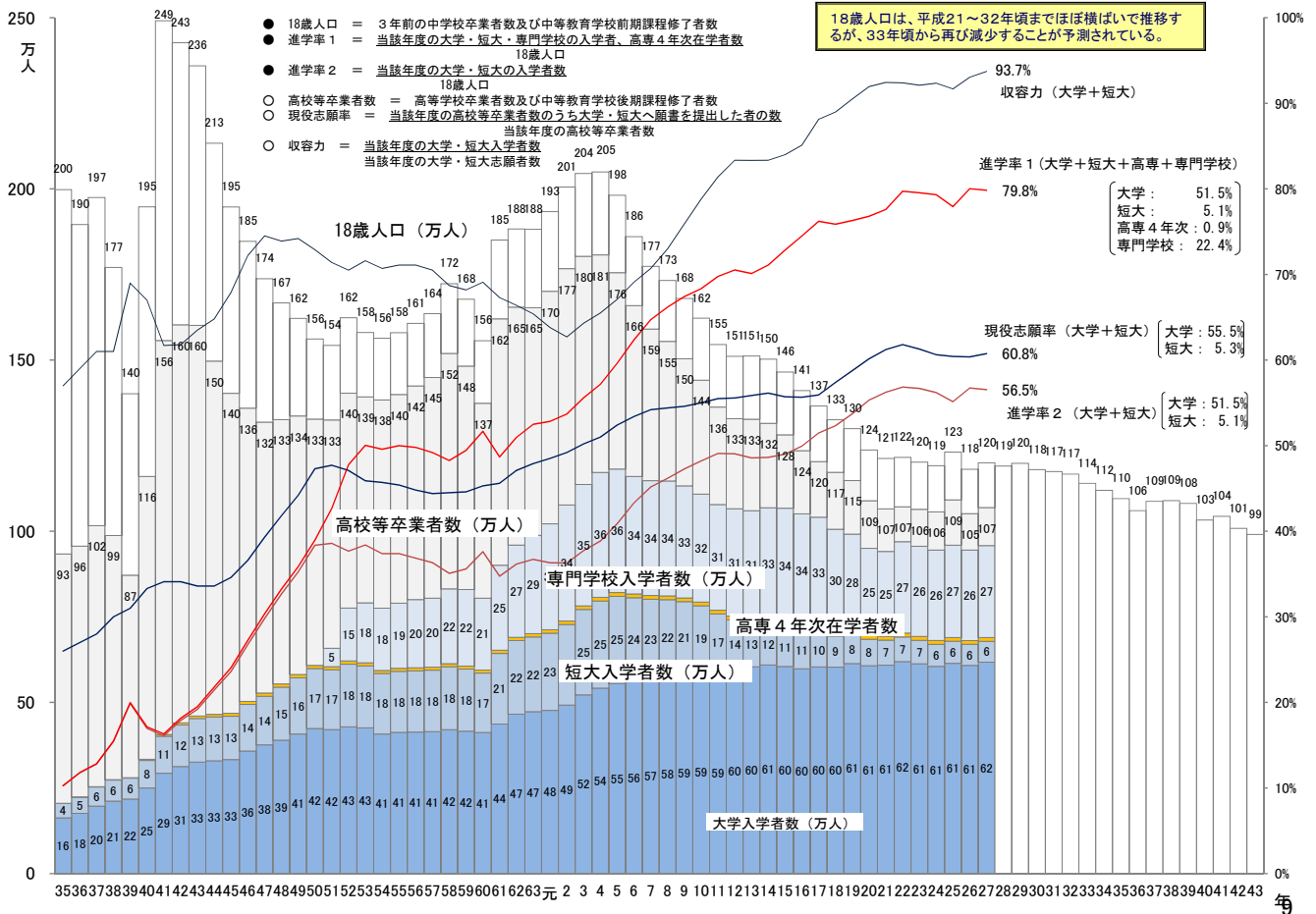


7

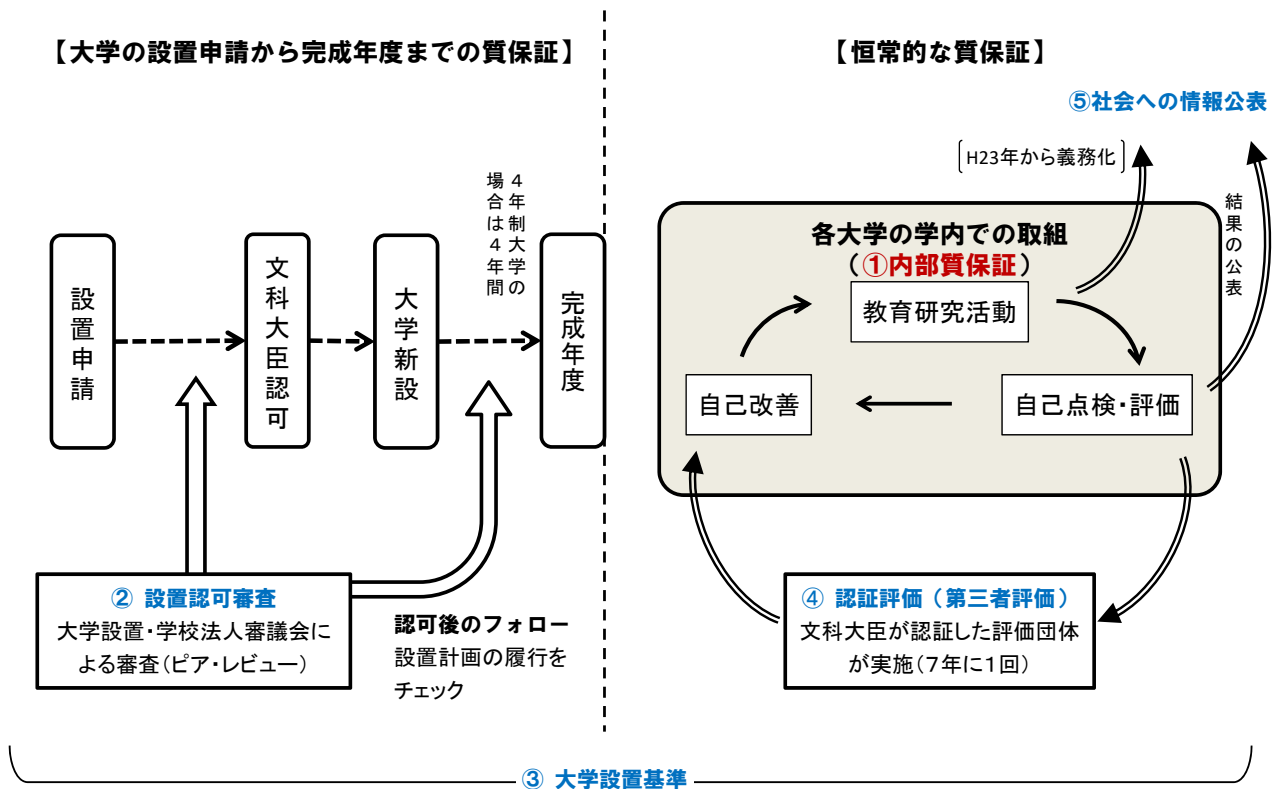
当面のスケジュール



18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



我が国の大学の質保証のイメージ図



高大接続改革：「三つのポリシー」に基づく大学教育改革の実現に向けて

「学校教育法施行規則の改正」

全ての大学等において、以下の三つの方針を一貫性あるものとして策定し、公表するものとする。

①卒業認定・学位授与の方針、②教育課程編成・実施の方針、③入学者受入れの方針

(平成29年4月1日施行)

大学教育の充実に向けたPDCAサイクルの確立

- ・生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、未来を切り拓いていく人材を育成する大学教育の実現
- ・大学教育の「入口」から「出口」までを一貫したものとして構築し、高等学校や産業界をはじめ広く社会に発信

大学教育の質的転換

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

学生が身に付けるべき資質・能力の明確化
＜PDCAサイクルの起点＞

各大学の教育理念を踏まえ、一貫性あるものとして策定

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

体系的で組織的な教育活動の展開のための教育課程編成、教育内容・方法、学修成果の評価方法の明確化

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

入学者に求める学力の明確化、具体的な入学者選抜方法の明示

「三つのポリシーの策定及び運用に関するガイドライン」

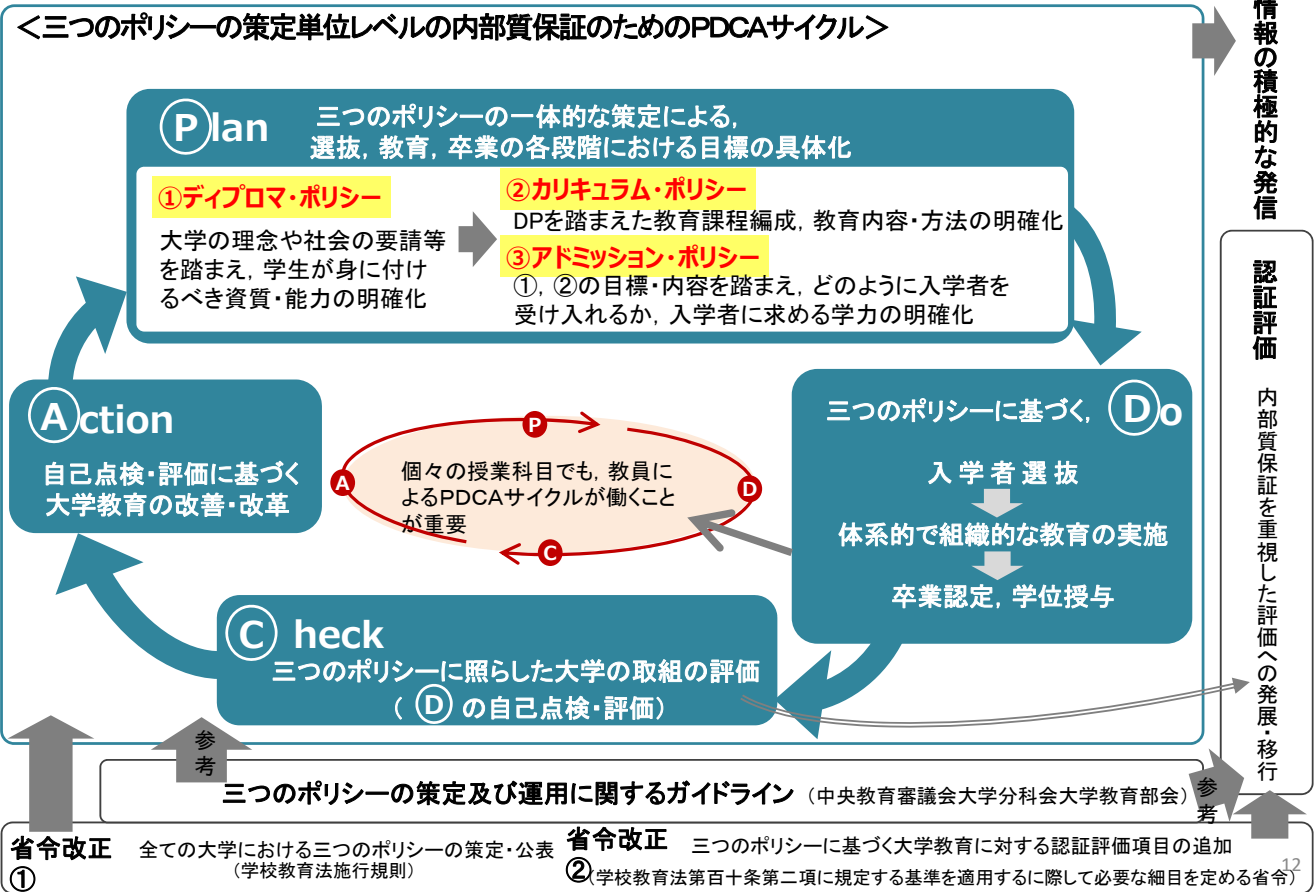
各大学の建学の精神や強み・特色等を踏まえた自主的・自律的な三つのポリシーの策定と運用の参考指針

(主な内容)

- ・三つのポリシーの策定単位は、学位プログラム(授与される学位の専攻分野ごとの入学から卒業までの課程)を基本に、各大学が適切に判断。
- ・各大学において、①卒業までに学生が身に付けるべき資質・能力を示すディプロマ・ポリシーと、それを達成するための教育課程の編成・実施の在り方を示すカリキュラム・ポリシー、②これら二つのポリシーを踏まえて学生を受け入れるためのアドミッション・ポリシーを、それぞれ策定。
- ・三つのポリシーに基づく大学教育の諸活動を実施するとともに、その結果の自己点検・評価とそれを踏まえた改善に取り組み、大学教育の内部質保証システムを確立。
- ・三つのポリシーとそれに基づく教育の実績等を分かりやすく積極的に情報公開することで、高校の進路指導を改善するとともに、産業界からの理解を得て連携を強化。

「三つのポリシー」に基づく大学教育改革の実現（イメージ案）

三つのポリシー … 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者の受入れ方針(アドミッション・ポリシー)



質の高い入学者の確保と教育の質の向上に向けてのフォローアップ

〔平成26年11月7日 薬学系人材養成の在り方に関する検討会
新制度の薬学部及び大学院における研究・教育等の状況に関するフォローアップワーキング・グループ〕

薬学教育の現状や取り巻く環境を基に、多くの大学に共通した課題・問題点について整理し、以下を提言。

＜入学者選抜の見直し、入学定員の検証＞

- AO入試などにおいて、必要な学力の把握が必要。
- 入試による選抜が機能するよう、適正な入学定員の設定について必要に応じて検討することも重要。

＜教育方法、評価、教員体制強化＞

- 能動的学修の促進、適切で教育上効果的な成績評価、要求される学修水準の学生への周知、進路変更希望学生のサポート体制整備が重要。
- FDの改善充実により、各教員の6年制薬学教育への意識の転換を図ることが重要。

＜内部質保証システム＞

- 学生の学力、意欲、学習への態度、入学時の成績とその後の修学状況等の分析と、分析結果に基づいた、課題を解決する改善計画の策定とPDCAサイクルを機能させることが重要。

＜卒業生の評価＞

- 卒業生の質を確認し、教育に反映させるとともに、卒業生の活躍を社会にアピールすることを期待。

＜薬学教育評価＞

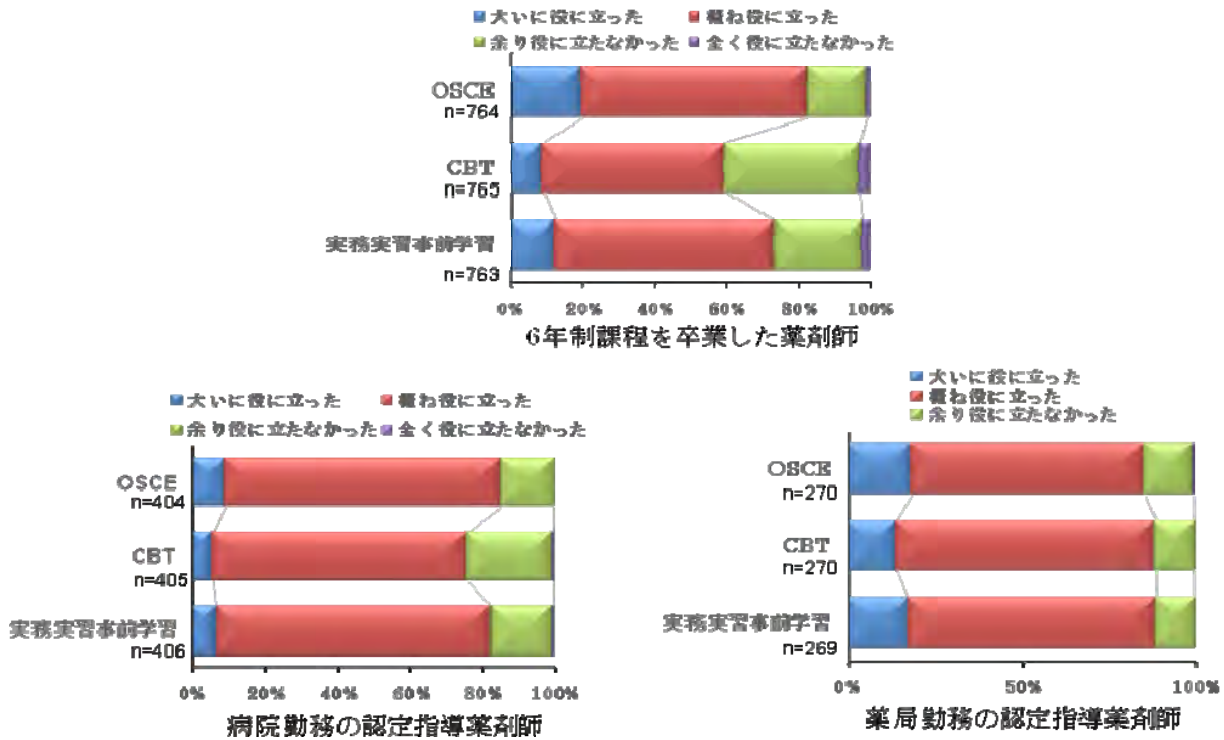
- 第三者評価について、各大学で評価結果やその対応策等を社会に対し周知することが重要。

＜情報の公表＞

- 「各年次の進級者数」、「入学者に対する標準修業年限内の卒業者及び国家試験合格者の割合」、「6年次の卒業留年の割合」を、各大学が適切に公表する必要。

6年制薬学教育の現状調査結果から

病院・薬局実務実習に対する大学における教育内容の効果について

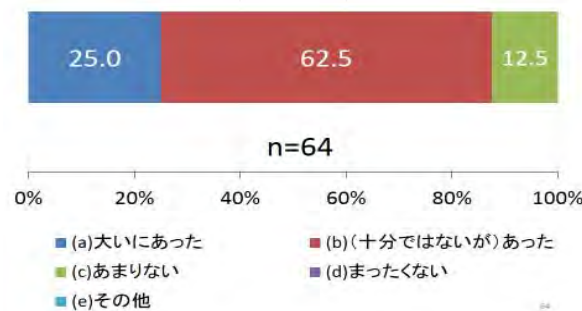


※薬学教育協議会「6年制薬学教育で養成した薬剤師及び教育体制の評価に関する調査研究報告書」(平成25年度) 14

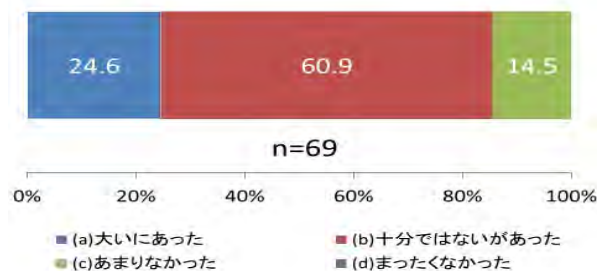
6年制薬学教育の現状調査結果から

非実務家教員の医療人教育に関する意識変化へのOSCE参加の効果について

【大学の学部長・教務部長に対するアンケート】



【大学の臨床系・実務家教員に対するアンケート】



※薬学教育協議会「6年制薬学教育で養成した薬剤師及び教育体制の評価に関する調査研究報告書」(平成25年度) 15